

平成 20 年 10 月 28 日

新ごみ処理施設建設促進を求める小谷の会  
会長 杉山 寿二 殿

白馬新ごみ処理施設を考える連絡協議会

会長 宮田 温巳

〒399-9301 白馬村北城 11020

## 申し入れ書

貴会が、10月1日に、「広域連合で計画している新ごみ処理施設建設は、候補地：飯森地区で推進していただきたい」との陳情書と署名を広域連合長及び白馬村長に提出したことを新聞報道で知りました。

ご承知のように、現在白馬村は新ごみ処理施設建設の候補地が飯森地区に決まったことについて反対・賛成の二つの意見が表面化しています。

また、白馬村長は「候補地：飯森」の受け入れの是非をめぐって近々民意の把握を行なう意向を示しています。

私どもは、こうした最中に貴会が「飯森は唯一無二の建設地」と間に割って入るような態度表明を行なったことの真意を測りかねています。

申すまでもなく、「候補地：飯森」を受け入れるか否かは白馬村民が主体的に判断する問題であり、私どもは、大町市民・小谷村民が口を差し挟む問題ではないと考えます。貴会のとった行動は白馬村民の意思決定への介入ではないでしょうか？

さらには、貴会が住民団体を名乗りながらも、現実には小谷村長の要請に基づく団体であり、それ故か署名集めは行政組織を利用して行なわれたことが複数の小谷村民の証言から明らかにされています。かような、行政の長としての立場と公的な組織を利用した署名集めが効力を持たないものであることは言うまでもありません。

私どもは、貴会に対して下記2点の速やかな実行を申し入れます。

### 記

1. 直ちに陳情書と添付署名簿を取り下げてください。
2. 2週間を目途に貴会と当会との意見交換会を開いてください。

\* この申し入れに対しどのように対応されるのか、2週間を目途に文書で回答をお願いします。

以上